

令和5年度 経営発達支援計画 事業評価・検証報告

1. 日 時：令和 6年 6月19日（水）10：00

2. 場 所：千歳商工センター 2階 中会議室

3. 出席者：9名（内委員 4名）

中小企業診断士		諸戸将人 氏
国民生活金融公庫札幌支店 融資第二課長代理		吉田拓馬 氏
千歳市産業振興部商業労働課 課長		辻 誠 氏
千歳商工会議所 中小企業振興委員会 副委員長 (事務局)		宮谷将徳 氏
千歳商工会議所 専務理事		鈴木隆夫
中小企業相談所 課長		塩原祐介
	係長	石橋美奈代
	主事	大窪崇文
	主事	山本由佳

4. 経 過：

事務局から評価の手順等について説明した後、各項目の実施説明を行い、出席者より事業に対する評価並びに意見を伺った。

※外部出席者による評価

項目	事業評価			
	A	B	C	D
1. 地域の経済動向調査に関する事	2	1	1	0
2. 需要動向調査に関する事	0	1	3	0
3. 経営状況の分析に関する事	0	2	2	0
4. 事業計画策定に関する事	2	2	0	0
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	1	2	1	0
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	0	1	3	0
7. 事業評価及び見直しをするための取り組みに関する事	0	2	2	0
8. 経営指導員等の資質向上等に関する事	2	2	0	0
9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	1	2	1	0
10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関する事	0	2	2	0

【評価の目安】

- A：十分達成している
- B：概ね達成している
- C：半分程度しか達成していない
- D：ほとんど達成できていない

1. 地域経済動向調査に関すること

- ・地域分析はできているが、調査結果を活用ができていないのは人的資源の影響か。
- ・消費動向についての項目があれば、ブランディングにもつながるのでは。
- ・四半期に一回程度することで、タイムリーに課題を知ることが大切。
- ・目標は十分達成できているが、目的である「支援」により繋がる様、取り組んでほしい。

2. 需要動向調査に関すること

- ・アンケート項目の見直しが必要では。
- ・道内の食イベントや商談会を中心にした方が旅費交通費を抑えられ、参加希望者が増えるのでは。
- ・出店者募集について周知方法等を工夫する必要がある。

3. 経営状況の分析に関すること

- ・非財務分析に力を入れて、気づきからの行動計画が必要と感じた。職員のヒヤリング、分析のスキルが重要。議員を講師にするなどの対応もありかと思う。
- ・定性的な分析の職員への指導が必要と感じた。
- ・効果の出なかったものは計画に沿って無理に行う必要はない。

4. 事業計画策定に関すること

- ・個別相談後のフォローアップが必要。
- ・各セミナー実績はでているものの中身が重要、アフター活動に重きを置く。
- ・事業継承はセンシティブな話であり、個別相談があるのは良い。
- ・工夫しながら事業を実施しており十分な効果を得ている。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・補助金申請が目的の事業者には経営計画策定の意義を PDCA など伝え理解してもらうことが必要。
- ・支援したすべての事業者にはフォロー及び計画に対する実績をチェック、事業計画の PDCA のフォローが必要。
- ・計画を策定する目的は売上や利益率のアップであるので、利益率の検証にも取り組んでほしい。

6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

- ・「DX セミナー」というタイトルは敷居が高く感じてしまう。DX の認識から変える必要があり、もっと身近に感じてもらうことが必要。
- ・SNS、EC サイトもメリットとデメリットを明確に伝え活用を促進させる。
- ・小規模事業者に対しての周知方法、アプローチ方法の再検討が必要。

7. 事業評価及び見直しをするための取り組みに関すること

- ・ 事業報告の回付が直前であり、1か月程度の余裕がほしい。
- ・ SWOT 分析に落としとして、評価改善を行う。会議所会員の需給のバランスが内容にあっているかがポイント。(ニーズとシーズでの対応を)
- ・ 評価や見直しは随時行うことが理想、計画通りに取り組んでほしい。

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・ 研修への参加人数が定数でないと能力に差が出るため、必須参加とするのが良い。
- ・ 受講する研修を常に見直す姿勢を高く評価する。引き続き、研鑽してほしい。
- ・ 定期的に外部の研修を受けることが大切。

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・ 日本金融公庫のセミナー開催等、検討してはどうか。
- ・ オンラインを含め回数を増やした方が良いと感じる。

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

- ・ 定期的な取組を期待。
- ・ 取組全体的に周知ができていないのか、内容認識が地域になされていないのでは。
- ・ 事情により取り組めていないものもあるが、今年度の取組に期待する。

総評

- ・ 事業者の課題を「見える化」するために、職員の「聞く力」を向上させる必要がある。サポートするのでご活用してほしい。
- ・ 事業取組がまだ間もないとの理由もあるが、改善する内容が多々あると感じた。内容と目的は良く感じるので、事業の活性化を目指す活動をお願いしたい。
- ・ 令和6年度は前年の課題や反省を生かし、取り組んでほしい。協力できることは協力したい。
- ・ 計画通り取り組めていないものがあるが、より良い事業へ見直していくという姿勢が随所に感じられた。引き続き、中小企業の振興に尽力いただけるようお願いしたい。